

特別委員会調査報告

令和 4 年 2 月 2 1 日

薩摩川内市議会

川内原子力発電所対策調査特別委員会

委員長 森 永 靖 子

I 川内原子力発電所の安全対策に関する調査

1 委員会の開催日

令和 3 年 1 2 月 1 5 日

2 調査概要

川内原子力発電所の視察を行い、運転状況、定期検査、特別点検等の説明を受けるとともに、緊急時対策棟等を視察し、安全対策の実施状況について確認した。

II 川内原子力発電所の安全対策及び関連する諸問題に関する調査

1 委員会の開催日

令和 4 年 1 月 3 1 日

2 調査概要

(1) 川内原子力発電所の運転状況等について

当局から、川内原子力発電所 1 号機、2 号機の運転状況及び川内原子力発電所 1 号機の定期検査結果の概要等について説明を受けた。

第 2 6 回定期検査が行われた 1 号機では、燃料集合体 1 5 7 体のうち 3 2 体が新燃料に取り替えられ、1 月 1 7 日に通常運転に復帰しているとのことであった。

(2) 令和 3 年度鹿児島県原子力防災訓練について

当局から、鹿児島県、本市及び関係市町が、住民の協力を得て、国・事業者等と連携して総合的な原子力防災訓練を 2 月 1 1 日に実施することについて報告があった。

当日の訓練は、福島第一原子力発電所事故を教訓とした訓練に加え、新型コロナウイルス流行下を想定し、3 密（密閉、密集、密接）を避け、P A Z 内では要配慮者や一般住民の避難訓練を、U P Z 内では平佐東地区及び樋脇地区の住民による住民避難訓練等を行う予定であるとの説明を受けた。

なお、新型コロナウイルスの感染状況次第では、訓練計画の内容が変更となる場合もあり得るとのことであった。

その後、原子力防災訓練の現地視察について議論を行ったところ、オミクロン株による新型コロナウイルス感染症の急拡大により、感染防止のため川内原子力発電所緊急時対策棟や県のオフサイトセンターでの視察受入れが困難となっている状況にあることなどに鑑み、今回の視察は中止することとした。